

市議会だより

 **しぶかわ**

発行◆渋川市議会
編集◆渋川市議会報編集委員会

2019年〈令和元年〉
5月15日第**54**号



広報と一緒にとして保存しましょう

平成 31 年

3月渋川市議会定例会

表紙の写真: 気をつけて渡ってね(橘小学校)

- 市議会の体制が新しくなりました（新議長に石倉一夫議員）…………… 2～3ページ
- 本会議のあらまし…………… 4ページ
- 各常任委員会の審査…………… 5～7ページ
- 一般質問（8人の議員が市政を問う）…………… 8～12ページ

しくなりました



副議長
山内 崇仁



議長
石倉 一夫

議長就任あいさつ

改選後の市議会3月定例会において、議長に就任いたしました石倉一夫です。令和という新しい時代の幕開けに、議長の重責を担うことになり、使命の重大さを痛感しているところであります。

合併から13年が経過した本市は、厳しい財政状況の中、人口減少対策をはじめとして、実施すべき事業が山積しております。

市議会としても、市政に対するチェック機能をより一層強化し、市民の皆さまの声を最大限、市に届けていけるよう努力していききたいと考えています。

また、円滑な議会運営に努め、引き続きより身近な開かれた議会にしていく決意でございます。

市民の皆さまには、今後とも議会活動へのご理解と、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

議会運営委員会

委員長	望月 昭治
副委員長	中澤 広行
委員	池田 祐輔
	田邊 寛治
	安力川信之
	角田 喜和

所管事項

- ① 議会の運営に関する事項
- ② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ③ 議長の諮問に関する事項

議会選出の主な役職

◆ 監査委員

中澤 広行

◆ 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員

石倉 一夫

◆ 渋川地区広域市町村圏振興整備組合議会議員

山内 崇仁
細谷 浩
田邊 寛治
安力川信之
中澤 広行
茂木 弘伸
望月 昭治
角田 喜和
石倉 一夫



議会の構成が新

経 済 建 設 常 任 委 員 会



反町 英孝



副委員長
細谷 浩



委員長
山崎 正男



茂木 弘伸



中澤 広行



板倉 正和

総 務 市 民 常 任 委 員 会



田邊 寛治



副委員長
池田 祐輔



委員長
角田 喜和



石倉 一夫



望月 昭治



山崎 雄平

予 算 常 任 委 員 会



副委員長
安力川 信之



委員長
田邊 寛治

ほか議長を除く
議員15人

教 育 福 祉 常 任 委 員 会



田村なつ江



副委員長
山内 崇仁



委員長
安力川 信之



加藤 幸子



須田 勝



田中 猛夫

平成31年 3月定例会

改選後、初の議会で新年度予算決まる

あらまし

平成31年3月定例会は、2月27日から3月27日まで29日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告1件、市長から提出された議案86件、議員提出議案1件があり、報告と人事案件等を除く一般議案は所管の常任委員会へ、平成30年度補正予算及び平成31年度予算は予算常任委員会へそれぞれ付託されました。体育施設条例の一部改正については修正案を可決し、そのほかの議案は原案のとおり可決しました。

建設工事委託に関する基本協定の締結

洪川市物産沢水質管理センター再構築第一期建設工事委託に関して、日本下水道事業団と8億4900万円の基本協定を締結するもので、全員一致で可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員である野村直司氏の任期が令和元年6月30日で満了となるため、同氏を引き続き候補者として推薦するものです。全員一致で同意しました。

洪川市農業委員会委員の任命の同意

農業委員会委員の任期が

平成31年3月31日に満了となるため、平成31年4月1

日からの委員を任命しようとするものです。新委員は、岸正二氏、青木明雄氏、大島アサ子氏、高橋昭彦氏、

眞下謹司氏、野村隆氏、斎藤美保氏、飯塚敬子氏、山本彰一郎氏、角田壽一氏、

須田和敏氏、高井眞佐実氏、新井正喜氏、鳥山孝子氏、

齊藤由香氏、星野安久氏、下田三徳氏、石田玉枝氏、

廣瀬淳氏、以上19名で、そのうち6名が女性委員となります。全員一致で同意しました。

洪川市教育委員会委員の任命の同意

教育委員会委員の任期が

令和元年5月19日に満了となるため、新たな委員として今井悦子氏を任命しようとするものです。全員一致で同意しました。

市長及び副市長の給料の減額

厳しい財政状況であることから平成31年4月1日から1年間について、給料月額を市長は78万3000円、副市長は69万8000円とするものです。多数決で可決しました。

教育長の給料の減額

厳しい財政状況であることから平成31年4月1日から1年間について、給料月額を63万1000円とする

ものです。多数決で可決しました。

平成30年度補正予算

一般会計補正予算については、歳入歳出それぞれ5211万円を追加して、総額376億1960万円とするものです。全員一致で可決しました。

特別会計補正予算についても、すべて全員一致で可決しました。

平成31年度予算

平成31年度一般会計予算は、375億5300万円

で、前年度から23億5800万の増額とするもので、多数決で可決しました。

主な新規事業は、夏に行

われる県知事選挙3594万1000円、参議院議員選挙3741万9000円、

イベント誘致事業1100万円、地域公共交通網形成計画策定事業1801万1000円、高齢者移動支援

事業481万4000円、地域のまつり等応援事業100万円、子育て世代包括

支援センター（基本型）事業472万4000円、は

じめての英語ふれあい事業243万円、地域密着型サービス施設整備補助事業5

820万7000円などとなっています。

各特別会計10件と、水道事業会計についても、すべて原案のとおり可決しました。

常任委員会の審査

総務市民

財産の減額貸付について

旧刀川小学校校舎及び体育館、土地を民間事業者へ減額して貸し付けるものです。全会一致で可決しました。

質疑 体育館については耐震補強がなされていない。こちらの利用はどのように事業者と協議しているか。もしくは耐震補強をいずれ行う予定なのか。

答弁 倉庫として利用する運営方針ですが、危険のない運用をするよう事業者と再協議を行います。市の負担で耐震補強を行う予定はありません。

質疑 借地であるプール部分についての今後の予定は。

答弁 教育委員会が地権者と交渉を行っています。

洪川市体育施設条例の一部を改正する条例

消費税法及び地方税法の改正に伴う使用料の改正、大日向いこいの公園運動場の体育施設への移管、既存施設の名称変更を行うものです。そのうち「洪川市赤城総合第2グラウンド」の名称を改める部分を削除する修正案が出され、修正案について全会一致で可決しました。

洪川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

旧被扶養者に係る減免期間の見直しに伴い、所要の改正をするものです。全会一致で可決しました。

経済建設

洪川市物産水質管理センター再構築第一期建設工事委託に関する基本協定締結

全会一致で可決しました。

質疑 この件は入札審査会にかけてあるのか。

答弁 この基本協定は随意契約で行っているので審査会は実施していません。

質疑 随意契約は入札審査会にかけなくてよいのか。

答弁 起案をし、市長の決裁を受けて執行しています。

洪川市営駐車場条例の一部を改正する条例

市営洪川駅前第2、第3駐車場の使用料を減額するものです。全会一致で可決しました。

質疑 今回、洪川駅前第2駐車場が1000円から800円に下がる。その前に第3駐車場を1000円から500円に下げたが、効果はあったのか。

答弁 洪川駅前第3駐車場を1000円から500円に下げたことによって、平成29年から30年の利用台数が約2倍になりました。したがって、今回1000円から800円に下げることによるメリットは大きいと

考えています。

教育福祉

洪川市ふるさと文化基金条例の制定

本市の文化遺産の保存、伝承及び活用を図るために基金を創設するものであり、全会一致で可決しました。

質疑 基金の使用目的は。

答弁 郷土にゆかりのある方々を顕彰するものであり、偉人の紹介、冊子の発行等に使用する予定です。

洪川市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例

教育長の給料月額を減額するための条例で、多数決で否決しました。

質疑 厳しい財政状況下であることにより減額とあるが、そんなに役に立つとは思えないが。

答弁 市長、副市長の減額もあり、少しでもという教育長の意思によるものです。

予算

一般会計及び国民健康保険など4特別会計補正予算は、すべて全会一致で可決しました。

中学生海外派遣事業

質疑 委託料の減額の理由は。希望者の状況は。

答弁 減額は入札差金です。希望者は、今年度定員20名に対して46名でした。

あんしん見守り緊急通報システムサービス事業

質疑 減額補正だが、一人暮らし世帯も増加している。当然利用者も増加してよいはずである。内容に問題があるのでは。利用するには、固定電話回線が必要。低価格な携帯電話に替えている世帯も増えている。内容を見直すべきでは。

答弁 減額の内容は入札差金です。また利用者の減少によるものです。ご指摘の内容など今後検討します。

平成31年度(令和元年度) 各会計予算

区分		予算額	増減 (対前年比)	
一般会計		375億5,300万円	23億5,800万円	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	91億776万円	
		(診療施設勘定)	1億4,700万円	
	後期高齢者医療	11億7,097万円	9,878万円	
	介護保険	87億7,014万円	2億928万円	
	農産物直売事業	264万円	△124万円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億3,835万円	6,621万円	
	小野上温泉事業	3,677万円	231万円	
	交流促進センター事業	2,013万円	1,415万円	
	下水道事業	26億8,540万円	1億561万円	
	農業集落排水事業	11億9,039万円	5,374万円	
	個別排水処理事業	2,779万円	319万円	
	水道	収益的支出	18億7,945万円	5,117万円
		資本的支出	13億4,189万円	△2,423万円

平成31年度予算案の審査

平成31年度茨川市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算は多数決で原案のとおり可決しました。ほか8議案については全会一致で原案のとおり可決しました。

基金運用について

質疑 基金運用では最も安全かつ確実な方法で運用しなければならぬ。どのような運用方針か。

答弁 マイナス金利の金融情勢において、厳しい利回りです。元本を減らすことは許されません。日々金融機関などの情報を基に注視しています。

PR動画情報発信事業

質疑 2年間行ってきた事業だ。大幅な減額の理由は。
答弁 毎年3000万円近くの経費がかかっています。内容を見直し、より効果的な情報発信を行っていきま

プレミアム付商品券

質疑 市独自の取り組みで対象者を広げる考えは。
答弁 国の方針を見定めて対応していきます。

高齢者移動支援事業

質疑 75歳以上で免許を持たない人を対象にタクシー券を補助する事業だが、予

算の対象者が少ない。申請者が増えたときは、補正予算を組んで対応を。
答弁 実証調査をして予算計上しているが、足りなくなった場合は早急に対応していきます。



高齢者移動支援タクシー券

子育て世代包括支援センター I (基本型・母子保健型)

質疑 妊娠時から子育てまで切れ目のない支援体制が望まれる。保健師や助産師、精神福祉士など専門職で対応すべき。いかに相談しやすい体制をつくるかが大事だが、どのように行うのか。SNSを活用した取り組みは。

答弁 母子手帳交付時がまず鍵だと考えます。わかりやすい周知に努めます。まずは電話などで対応します。

指定ゴミ袋の対応は

質疑 市がゴミ袋を作成する根拠は。民間で安価に作成する取り組みは。
答弁 根拠は合併時の取り決めです。作成については、他市の状況を調査し研究していきます。

移住者住宅支援事業

質疑 これまで申請して支援が受けられなかった人はいるか。この後の対応は。
答弁 今年度は1件ありました。他市などの状況も踏まえ検討していきます。

液体ミルクを防災備蓄品に

質疑 全国に先駆けて液体ミルクを備蓄する。賞味期限が短いが対応は。
答弁 保健センターに使い捨ての乳瓶とともに備蓄します。賞味期限が近づいているものは、防災訓練などで市民に配布します。

ラリーチャレンジ

質疑 モータースポーツを

活用した地域活性化の取り組み。市を挙げてこの事業に取り組みたい。

【答弁】 これまで4回開催され、昨年は1万4000人が集まりました。ふるさと納税などを活用して、全日本ラリーなども開催していきます。

小中学校不登校対策（ウオームアップティーチャー）

質疑 不登校の生徒を支援

する事業だが、どのような人材を活用するか。
【答弁】 人生経験豊かな教職経験者を想定しています。どこまでも生徒に寄り添える人をお願いしていきたいです。

上三原田歌舞伎200年祭

質疑 実行委員長は市長だ

が、補助金を出す人と受ける人が同じでよいのか。

【答弁】 職務代理を立てるの
で、双方代理にはあたりません。

【主な新規事業】

- (1) kirariしぶかわ発行事業
- (2) 渋川市移住支援金事業
- (3) 乗合バスモニター事業
- (4) 子育てにやさしいまちPR事業
- (5) 住宅用スマートエネルギー機器設置助成事業
- (6) 骨髄ドナー支援事業
- (7) 新規就農推進事業
- (8) 森林経営管理事業
- (9) ため池防災減災事業
- (10) 詐欺被害等対策事業
- (11) 渋川市プレミアム付商品券発行事業
- (12) 地場産業後継者育成支援事業
- (13) 群馬DESTINATIONキャンペーン実施事業
- (14) アニメツーリズム推進事業
- (15) 渋川伊香保温泉手ぶら観光実施事業
- (16) 災害に強い道路整備事業
- (17) JR渋川駅周辺地域再生構想策定事業
- (18) 小中学校不登校対策事業
- (19) 学ぶ楽しさを味わうICT活用推進事業
- (20) ふるさと渋川再発見事業

討論

3月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。
討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

賛成

本予算案は選択と集中の観点から、限られた財源を重点的に配分するものである。

市民の安全で安心な暮らしづくりを進めると共に、身近な生活環境の整備を行い、当面する緊急的な課題へ即時に対応する施策が充足された。

中心市街地のにぎわい創出や魅力ある観光地づくり、市債の繰上償還、遊休資産の有効活用などを推進し、将来に向け種をまく施策へも取り組む。今後、厳しく慎重な財政運営が求められるが、積極的な財政改革を求め賛成討論とする。

反対

今年度の予算は免許証を持たない高齢者に対するタクシー券を年間48枚発行、学校給食費の完全無料化の継続等、市民の願いに寄り添う姿勢は評価できるが、10月から消費税10%への引き上げを見込んだ予算である。

産業廃棄物である鉄鋼スラグの処理は、期限のない将来まで先送りせず、法に基づき渋川市の費用で撤去を行い、費用を原因者に請求すべきである。民間譲渡前提の温泉・公共施設の存廃については、住民参加の検討会設置などを強く求め、反対討論とする。

議員全員協議会のあらまし

渋川市新市建設計画事業の進捗状況について

平成29年度末時点で、501事業のうち完了142事業、実施中174事業、中断17事業、廃止83事業、検討中74事業、未着手11事業との説明がありました。

予算状況を勘案し、速やかな事業着手、完了を期待したい。

イベント誘致事業の取組状況について

本市の経済活動を活性化させるためには、市外からの交流人口を一層拡大する必要があるので、「市民会館改修・イベント誘致係」を設置し、各種イベントに関する相談・誘致機能の強化を図ることとした。大規模改修を行っている市民会館、昨秋リニューアルした総合公園陸上競技場、令和5年度本格活用を目指す中村緑地公園などを生かすイベント等を誘致していくとの説明がありました。

一般質問

～8人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 9 須田 勝 議員

渋川再生で市民のしあわせを

- 自治会改革
- 職員改革
- 選挙改革

P 9 田邊 寛治 議員

- 学校給食共同調理場整備事業全般について
 - 1 建設の必要性と問題点
 - 2 アレルギー対策と現況
- 教育分野の無償化の考えについて

P 10 山崎 正男 議員

高齢者対策について

- 介護施設の状況
- 高齢者の健康寿命の促進

P 10 中澤 広行 議員

- 路線バス
- 新庁舎
- 市道管理
- 三原田地区の諸問題
- 吾妻川橋りょう2
- 災害協定

P 11 細谷 浩 議員

これからの渋川について

- 農業振興
- 教育環境
- 暮らしやすい渋川

P 11 角田 喜和 議員

- 環境問題について
- 国民健康保険税の引き下げについて

P 12 加藤 幸子 議員

- 八木原駅周辺整備計画について
- 高齢者対策について
- 子育て支援について

P 12 安力川 信之 議員

- 地域包括ケアシステムの取り組みについて
- 学ぶ力を育むまちづくり

※ 3月定例会時点での発言のまま表記しています。

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問



須田 勝

渋川再生で市民のしあわせを

自治会改革

質問 赤城、北橋地区は、自治会役員、会長の任期が1年であり、要望した事業が達成されないまま役員改選になる。全市統一の役員任期を。また人口減少、世帯数減少で自治会機能が低下している。再編統合は、行政主導を望む。

市民部長

自治会の役員任期や再編統合については各自治会が主体となつて協議いただき、市は地域の課題解決に向け努めていきます。

質問 群馬銀行敷島支店が今年7月22日をもって、渋川支店と移転統合と聞かすが、地元自治会、地元住民は不便をきたす。市の考えは。

市長

群馬銀行敷島支店は地元の重要な金融機関と考えます。地元の皆さまと共に、群馬銀行に対する存続の要望をしたいと思います。

職員改革

質問 市職員の挨拶ができていない。生きていく上で基本だ。初歩的な指導は副市長がすべきだが早めに副市長を置く考えは。また職員の服装がまちまちである。統一

的な制服を貸与する考えはあるか。

市長 できるだけ副市長に適した人材を選任したいと考えます。

総務部長 厳しい財政状況を考えると、制服の貸与は難しいです。

選挙改革

質問 低投票率改善のため、投票に行きたくても行けない市民に移動投票所全域導入の考えは。また全介護施設での投票実施の考えは。

総務部長

移動投票所の全域導入は時間的制約から難しく、全介護施設での投票は施設側の体制が必要ですが、選管と協議します。



望まれる移動投票所



田邊 寛治

学校給食共同調理場整備事業全般

質問 (仮称)東部学校給食共同調理場一度凍結、再事業化の理由。

市長 児童生徒数の検証や財政負担を検討し、社会環境変化の観点から食物アレルギー対応の給食調理場が必要と判断しました。

質問 財源の内訳、合併特別債額。

教育部長 財源の内訳としては、国庫補助金1億1800万円、合併特別事業債14億6170万円、一般財源1億1530万円です。

質問 東部調理場のアレルギー対策と受け入れ体制は。

教育部長 特定原材料7品目に対応した給食を、各関係者と連携し、安全に提供します。

教育分野の無償化の考え方

質問 教育分野の手厚い施策と財源の充て方。無償化の考え方は。

教育部長 渋川市の未来を担う子どもへの投資として、有効な施策を実施し、保護者負担を軽減することとは価値のあることと考えます。

質問 ウォームアップティーチャの役割と責任は。

教育部長 不登校傾向の児童生徒の

個々の状況に応じて、寄り添いながら励ましたり学習を指導したりして、きめ細かな支援をします。

質問 不登校の選択肢としての権利のとらえ方とリスクの対応は。

教育部長 不登校を問題行動としてとらえるのではなく、子どもに安心できる居場所や見守る体制をつくるのが大切だと考えます。

質問 英語教育の低年齢化の考え。

教育部長 グローバル化が進む社会において、外国人との英語でのコミュニケーションに慣れ親しむことは大切だと考えます。



(仮称)東部学校給食共同調理場建設予定地

一般質問



山崎 正男

高齢者対策について

介護施設等に関して

質問 特別養護老人ホーム等の入所待ちの人数は。市として把握しているか。

保健福祉部長 入所申込者については、平成30年5月時点の調査では236人となっています。その内、緊急度の高い在宅者は47人です。

質問 国民年金受給額で介護施設等に入れる政策がとれないか。

保健福祉部長 施設入所者本人の年金収入で不足する場合については、親族等により負担することとなります。しかし、親族等からの支援が受けられない場合には、生活保護の対象となる場合もあります。

高齢者の健康寿命の促進

質問 吾妻川公園や市内の競技可能な公園等に複数の洋式トイレを設置してほしい。

建設部長 新年度から新たな事業を立ち上げ、トイレの洋式化を積極的に進めます。新年度は、吾妻川公園のトイレ改修を行います。



複数の洋式トイレの設置を

総合政策部長

社会体育施設全体のトイレが老朽化しているため、施設の利用状況が多い場所から計画的にトイレの洋式化を進めます。

質問 高齢者が計画を立てて動くために、市内循環バスの路線設置を要請する。

市長 高齢者の移動手段を確保するため、地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通を総合的に見直していきたいと考えます。見直しに当たっては、循環型バスの運行も含めて検討し、利便性の向上を図っていききたいと考えます。



中澤 広行

スピード感で事業推進を

質問 明保野地区に乗り合いバスを運行すべきだ。

総合政策部長 市全体の路線を見直す中で、交通空白地の解消に向けた効果的な運行を研究します。

質問 新庁舎建設は平成35年から着手の計画だが、防災上問題だ。前倒しして早期に着手を。

市長 大型事業の完成を見通し、将来にわたり持続可能な財政運営を行いながら、できるだけ早く計画を立てていきたいと思えます。

質問 多くの市道の白線が消えている。インフラ水準の低下だ。各行政センターの権限で発注せよ。

市長 生活道路等緊急整備事業などにより、予算を確保して対応に努めていきます。

質問 三原田団地の県有地は防災上危険だ。景観も異常である。市から県に要望し直ちに撤去を。

市民部長 高い杭が非常に目に付く景観については、地域住民の立場に立って、県へ申し入れをしていきたいと思えます。

質問 三原田土地改良に伴う公園

の早期着工を。遊休地の宅地化は、

建設部長 総合計画に盛り込み、平成35年度以降に着手します。

農政部長 遊休地については、宅地造成を実施する方向で進めます。

質問 小野上地区の悲願である吾妻川橋りょう2の早期着工を。

市長 橋りょう工事が、合併時の約束であることは承知しています。大規模事業であるため、財政事情等を見極めながら取り組みます。

質問 災害協定は市内の団体と。ように協定を結んでいきます。



「異常な道路標示」「異様な景観(三原田団地)」

一般質問



細谷 浩

どうなる？これからの渋川

農業振興

質問 法定伝染病の蔓延防止には発生時の迅速な防疫処理が求められるが、本市における態勢整備は。

農政部長 要綱で発生場所に応じた防疫態勢を定めており、県内で発生した場合は非常事態とし、対策本部を設置の上、県と連携して総合的な防疫対策を行います。

質問 家畜の伝染病予防には、農場内への野生動物の侵入防止が有効と考えられるが、フェンスの設置に補助金を付ける考えは。また野生動物の捕獲奨励金の増額は。

農政部長 補助事業による電牧柵の設置によって侵入防止対策を講じた後、状況に応じて検討します。捕獲奨励金については、捕獲業務委託契約の中で必要な経費として支払っています。

教育環境

質問 小中学生への授業研究や、教職員の研修の場として、本市の学校教育の要の施設である教育研究所の事業内容と、老朽化が進んでいる教育研究所の移転計画は。

教育長

「学力向上」「英語教育」「ICT活用」「教育相談」についての実践研究を進め、社会科副読本作成や教育相談事業、適応指導教室運営を行います。移転についても検討を進めています。

質問 小学校での英語教育の充実が求められているが、小学校教師の英語力向上への取り組みは。

教育長 渋川グローバル教育推進事業の一環として、指導力向上研修や渋川グローバルコミュニケーションを行い、英語教育の指導の充実を図っていきます。



老朽化が進む教育研究所



角田 喜和

基金の一部を取り崩し負担軽減を

質問

国民健康保険税が高すぎる。市民は悲鳴をあげている。県議会でも国保援護課長が、新年度は国保納付金が増えると答弁している。渋川市の影響は。

市民部長 本市の納付金の影響額については、平成30年度に比べ平成31年度は、881万5832円の増額で、3・65%の増となっています。

質問 国保加入者への負担をこれ以上したら駄目だという状況が市長会で出されている。市長は、負担軽減について12月議会でも最小限の予算の中で検討するとしていた。国保基金の一部を取り崩し、負担軽減を図る考えは。

市長 国保税は平成30年度から3年間、所得割率を段階的に引き上げる激変緩和措置を講じており、不足分に国保基金を充当します。平成33年度からの国保税率は、医療費の増加や被保険者数の減少と国保基金額を考慮して検討します。

質問 金井にある大同特殊鋼(株)の廃棄物処分場からタンクローリー

質問

で運んでいる液体について、平成29年8月の朝日新聞では環境基準の8倍を超える六価クロムに汚染された地下水であると報道された。私は廃棄物に該当すると考えているが、市の見解は。

市民部長 当該処分場の地下水に係る浄化対策として、県の指導の下、場内に設置した対策井戸からくみ上げた地下水も浸出水のほかに運搬していると認識しています。この浸出水が廃棄物に該当するかどうかについては、所管行政庁は群馬県ですので答える立場にありません。



汚染地下水を運ぶタンクローリー



加藤 幸子

八木原駅はバリアフリー化に

質問 八木原駅の自由通路・橋上駅舎化に伴いエレベーター設置とバリアフリー化の実現を。地元の要望聴取や道路・駅前整備も含めて、早急に地元説明会の開催を。

建設部長 利便性や安全性向上のためバリアフリー化に積極的に取り組みます。東側道路は、説明会を3月中旬に開催し、今後も地元の意見を聴取し整備を進めます。

質問 高齢者の移動手段として、タクシー券48枚を配布予定。市民への周知・申請方法については。

総合政策部長 市の広報紙で周知すると同時に民生委員にも周知をお願いし、本庁と各行政センターで申請を受け付けたいと考えます。

質問 手軽に使い高齢者の足になるシルバーカー購入補助の考えは。

保健福祉部長 介護保険でレンタル可能で補助予定はありませんが、他市を参考に研究していきます。

質問 加齢性の難聴は誰にも起こりうるし認知症の危険要因ともなる。補聴器購入助成制度の考えは。

保健福祉部長 加齢性難聴の補聴

器は生活用具の一つとして助成対象ではありませんが、国の動向等を注視していきます。

質問 保育料の完全無料化についての考えは。

市長 子どもは家庭での保育も重要であり地域みんなで育てることも必要です。今後の国の制度を見極めながら総合的に判断します。

質問 子どものインフルエンザ予防接種の助成の考えは。

保健福祉部長 予防接種の効果やリスク等を踏まえ、医師会等の意見も参考にしたいと考えます。



シルバーカーでお買い物



安力川信之

教育への投資は未来への投資

幼児教育無償化を

質問 国は10月より3歳から5歳までの保育園・幼稚園などの利用料を無料化する。国に先駆けている渋川市は、保護者の所得に関係なく0歳から無料にすべき。

市長 子どもは、地域みんなで育てたいと考えています。国の制度と財政状況を見極めながら、本市が保育環境充実の先駆けとなれるように取り組んでいきたいと思えます。

低学年の学力向上を

質問 低学年に徹底した基礎学力を。学ぶ力を育む渋川版教育メソッドを。

教育長 小学校低学年において、学ぶ楽しさを味わいながら、学習内容や学びの姿勢、習慣を身につけることは、学ぶ力の基盤として大変重要なことです。そのための施策を講じていきたいと考えます。

大人だつて学びたい

質問 大人版すたでいばんくを。そのためにも図書館開館時間の延長を。

市長 図書館の相互利用を締結した前橋市と同様に、午後7時まで開館時間の延長ができるよう教育委員会と協議していきます。

質問 買利物と通院ができる移動支援を。社会福祉協議会の「あいのり」を通院にも応用すべき。

市長 公共交通と高齢者の居場所、すたでいばんく、図書館の活用等を複合的、総合的に連携させ、利便性を上げたいと思っています。ご提案の通院版「あいのり」を研究し、実現できるよう努力します。



小学校低学年の授業の様子

令和元年6月市議会定例会日程予定

日	月	火	水	木	金	土
6/9	10	11	12	13	14	15
				本会議 (開会・議案上程)	本会議 (議案上程)	
16	17	18	19	20	21	22
	一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会 (総務市民) (経済建設)	常任委員会 (教育福祉)	
23	24	25	26	27	28	29
	常任委員会 (予算)	休会	本会議 (表決・閉会)			

○本会議は午前10時から開会します。

○日程が変更されることがあります。ホームページ等でご確認ください。

議会の用語を解説します

【請願】住民から、国や県、市などに対し、さまざまな要望をすることです。

国や県、市は請願を受理する義務がありますが、必ずその内容が実現されるものではありません。

請願をする場合は、請願者の住所氏名、要望の趣旨や理由などを書面にし、議員の紹介を経て、議長あてに提出します。

議会の傍聴に手話通訳をご利用ください

渋川市議会では、議会を傍聴する人に、希望により手話通訳者を手配していただきます。

3月定例会では、12日と14日の2日間、一般質問の手話通訳が行われました。手話通訳を希望する人は、傍聴する日の3日前までに、議会事務局へお申し込みく

ださい。

(詳しくは市議会ホームページ「議会の傍聴」まで)



議会報編集委員会 委員紹介

市民の皆さんに市議会の活動を身近に感じていただけるよう、分かりやすい紙面を目指し精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

前列右から、山内崇仁委員、加藤幸子委員長、池田祐輔副委員長、須田勝委員、後列右から、田村なつ江委員、板倉正和委員、反町英孝委員



渋川市議会はインターネット中継しています。市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>

パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。



左のQRコードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。

平成31年3月定例会の審議結果

条例の制定……………原案可決

- 渋川市ふるさと文化基金条例
- 渋川市営伊香保ロープウェイ条例

条例の改正……………原案可決

- 渋川市議会委員会条例の一部を改正する条例
- 渋川市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市国民保護対策本部及び渋川市緊急対処事態対策本部条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例
- 渋川市保育所条例の一部を改正する条例
- 渋川市子持高齢者能力活用センター条例の一部を改正する条例
- 渋川市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例
- 渋川市林業災害対策特別措置条例の一部を改正する条例
- 渋川市事務分掌条例の一部を改正する条例
- 渋川市議会議員及び渋川市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市長及び副市長の給与及び旅費支給条例の一部を改正する条例
- 渋川市行政財産使用料条例の一部を改正する条例
- 渋川市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例
- 渋川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 渋川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 渋川市土地改良事業分担金等賦課徴収条例の一部を改正する条例
- 渋川市メープルヴィレッジこもち条例の一部を改正する条例
- 渋川市工場等設置奨励条例の一部を改正する条例
- 渋川市小口資金融資促進条例の一部を改正する条例
- 渋川市営駐車場条例の一部を改正する条例
- 渋川市建築基準法関係手数料条例の一部を改正する条例
- 渋川市伊香保温泉ビジターセンター条例の一部を改正する条例
- 渋川市営伊香保温泉長峰ヘリポート条例の一部を改正する条例
- 渋川市赤城キャンプ場条例の一部を改正する条例
- 渋川市交流促進センター条例の一部を改正する条例
- 渋川市小野上温泉センター条例の一部を改正する条例
- 渋川市白井温泉こもちの湯条例の一部を改正する条例
- 渋川市たちばなの郷城山条例の一部を改正する条例
- 渋川市小野上温泉公園条例の一部を改正する条例
- 渋川市公園条例の一部を改正する条例
- 渋川市下水道条例等の一部を改正する条例
- 渋川市水道事業給水条例の一部を改正する条例

条例の改正……………修正可決

- 渋川市体育施設条例の一部を改正する条例

条例の廃止……………原案可決

- 渋川市営林道事業分担金徴収条例を廃止する条例
- 渋川市商工貯蓄共済融資利子補給条例を廃止する条例
- 渋川市伊香保温泉客引取締条例を廃止する条例

市長専決処分の報告

- 和解及び損害賠償の額を定めることについて

平成30年度補正予算……………原案可決

- 渋川市一般会計補正予算（第6号）
- 渋川市一般会計補正予算（第7号）
- 渋川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- 渋川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 渋川市介護保険特別会計補正予算（第3号）
- 渋川市下水道事業特別会計補正予算（第3号）

平成31年度予算……………原案可決

- 渋川市一般会計予算
- 渋川市国民健康保険特別会計予算
- 渋川市後期高齢者医療特別会計予算
- 渋川市介護保険特別会計予算
- 渋川市農産物直売事業特別会計予算
- 渋川市伊香保温泉観光施設事業特別会計予算
- 渋川市小野上温泉事業特別会計予算
- 渋川市交流促進センター事業特別会計予算
- 渋川市下水道事業特別会計予算
- 渋川市農業集落排水事業特別会計予算
- 渋川市個別排水処理事業特別会計予算
- 渋川市水道事業会計予算

人事……………同意

- 人権擁護委員候補者の推薦について
- 渋川市農業委員会委員の任命の同意について（19人）
- 渋川市監査委員の選任の同意について
- 渋川市教育委員会委員の任命の同意について

人事……………選挙

- 議長の選挙
- 副議長の選挙
- 渋川地区広域市町村圏振興整備組合議会議員の選挙
- 群馬県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

その他……………原案可決

- 市道の廃止について
- 市道の認定について
- 渋川市物産水質管理センター再構築第一期建設工事委託に関する基本協定の締結について
- 財産の減額貸付について
- 群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について

編集後記

市民から選ばれた18人の議員で、初の議会が開かれました。

本来なら市民の皆さんが話し合い、市政を運営していくことが住民自治の建前です。しかし、市民全員1カ所に集まって相談し、結論を出すのは不可能なことです。そこで、市民が選挙によって選んだ代表者に、代わりに話し合ってもらおう、これが議会政治であり、民主政治の基本です。

市長は市民の要望を政策として具体的に予算化、また条例を議案として、議会に提案します。

議会は議案説明を聞いた上で、詳細に審査し多数決により決定をします。市民の代表として、市政の方向を決定する「議会の仕事」を議員一人一人がしっかりと自覚してスタートしたいものです。

（編集委員長 加藤幸子）